

「四條畷市に住んでよかった」その実現に向けて みんなで描こうなわての未来

四條畷市に暮らす皆さんの暮らしを守り、より豊かで魅力あるまちにしていけるために
この1年、市がどんなことに取り組むのかを紹介します。

市長が3月市議会定例議会で
令和8年度市政運営方針を説明しました。
抜粋・要約して掲載します。

令和8年度
市政運営方針
全文はこちら



市長就任から1年が経過しました。この間、市政運営を支えてくださった
市民の皆さま、議員の皆さま、そして日々現場を支える職員の皆さんに、
心から感謝を申し上げます。

この1年、「みんなで描こうなわての未来」を理念に掲げ、市民の暮らしの
実感の起点に、対話による市政運営に取り組んでまいりました。

四條畷市がこれまで進めてきた行財政改革の成果を基盤として、
時代の変化に対応すべく、新たな挑戦を積み重ね、
「四條畷市に住んでよかった」と思ってもらえる、
希望を持って暮らせるまちの実現が私の使命です。

令和8年度におきましても「挑戦を応援」、「安全と安心」を軸に、
優先順位を明確にしなが、丁寧かつ着実に市政運営を
進めてまいります。

四條畷市長 銭谷 翔



重点施策

この1年の進捗と令和8年度の方針をお伝えします



いくつになっても 活動したくなる“なわて”

当初予算
1,100万円

健康寿命の延伸に向けた健康活動の推進

健康寿命の延伸を目的に、アプリでポイントをためる「健康プログラム事業
(通称：なわぼ)」が令和7年度からスタート。登録者は1月末時点で900人
を超えました。引き続き効果検証を行いながら登録者の拡大と継続利用を促
進し、市民の皆さんに喜ばれる事業へ育てていきます。4月からの市の組織再
編により、健康づくりだけでなく、生涯学習や生きがいづくりを含め、社会参
加を通じた地域の活性化も推進していきます。



アプリを使った健康づくりを推進



働く世代が元気あふれる “なわて”

当初予算
6,900万円

地域経済の好循環を創出する 事業活動支援

令和5年度からスタートした「なわて事業者チャレ
ンジ支援制度」。深刻化する人材不足などの課題
に対応するため、7年度には、人材確保や定着に向
けたメニューの追加、相談体制と伴走支援を強化
しました。効果検証を行い、得られた知見を今後の
産業振興施策の改善、充実に生かしていきます。

豊かな暮らしを実現する学びの 環境を応援

働く人のキャリアアップを支援する「大人の学び
直し支援」では、年間目標80人に対して、令和7年
度上半期だけで70人近くの方が補助金を活用し
ました。今後は、学習後のフォローアップや交流の
場づくりを進め、一人ひとりの学びを、暮らしや仕
事の充実につなげていきます。



令和7年度は学び直しに関するイベントも開催



子どもが夢や目標を持てる “なわて”

当初予算
2,400万円

より良い学習環境に向けた体制整備

経済的事情に関係なく、全ての子どもが可能性を伸ばせるよう、就学援助の認定を受けた中学生には、**学習塾や習い事にかかる費用の一部を助成する新しい支援を実施**します。

また、小中学校で新たに更新する学習用タブレットにより、児童生徒の主体的な学びの実現につなげていくとともに、使いやすさと安全性の向上をめざし、情報セキュリティ対策も強化します。



人とまちと自然がつながる “なわて”

当初予算
4億4,400万円

住みたい・住み続けたいと思える魅力的な環境づくり

大阪府と進める国道旧170号の拡幅は、用地買収が着実に進んでいます。生活道路では舗装の点検・補修・修繕を実施し、通学路では、危険箇所の対策とともに防犯カメラの設置により子どもの安全を確保します。また、市唯一の駅である**JR忍ヶ丘駅前**を、市民が集うにぎわいの場とするため、8年度は駅前西広場を活用した**社会実験**を実施し、にぎわい創出の効果を検証します。あわせて四條畷駅周辺では、地域資源を生かした取り組みや将来の土地活用を視野に、魅力向上策を検討します。



JR忍ヶ丘駅西側



いのちと生活を守る“なわて”

当初予算
1,100万円

誰もが安全・安心に暮らせるまちづくり

物価高騰の影響を受ける市民生活を支え、地域経済活性化のため「**なわてみんなで頑張ろう商品券**」の実施と**半年分の水道基本料金減免**の実施に向け、準備を進めています。

また、地域で支え合う包括的支援体制の整備に向けて、潜在的なニーズを把握するとともに、年齢や制度の「縦割り」で支援が途切れないよう、伴走支援を行います。その他、公共交通を取り巻く環境が厳しさを増す中、コミュニティバスやおでかけサポートタクシーの運行内容の検証や見直しを行うとともに、新たな交通手段の可能性を検討するため、シェアサイクルの実証実験にも取り組み、移動しやすい環境づくりを進めます。



※当初予算に加えて前年度からの繰越予算を活用します



子育て世帯が笑顔で過ごせる “なわて”

当初予算
6,900万円

相談支援体制と待機児童対策を充実

より安心して子育てできるまちをめざし、相談から必要な支援へ切れめなくつなぐ体制づくりを進めています。その一環として、母子保健や児童福祉、教育支援が連携する「**こども家庭センター**」機能の整備を検討しています。また、保育施設では**保育士の処遇改善**により人材確保を進めています。さらに、ふれあい教室の民間委託により支援員などの確保が進み、待機児童は令和6年度当初の83人から7年度当初は6人へと大きく減少しました。



公共施設の再編

当初予算
14億8,500万円

個別施設計画に基づき、令和8年度は、**四條畷南中学校跡地**では、コミュニティ複合施設や公園、多機能型体育館の整備に向けた実施設計などを進めます。**市民総合センター等敷地**では基本設計に着手し、**市庁舎敷地**では付属棟の解体工事とともに文化財調査を進めます。あわせて、**四條畷小・四條畷中学校の整備**に向けた基本計画を策定します。これらの段階ごとの進捗状況は、随時お知らせしていきます。



市庁舎新棟完成イメージ



田原の活性化

当初予算
6,100万円

地域と連携して進める**自動運転**は、これまで2,900人以上が利用し、地域内の移動手段として広がりつつあります。令和8年度は、将来の自動運転レベル4の本格導入に向けた実証実験に取り組みます。また、下田原地区では、**ほ場整備**を進めるとともに、小麦栽培や子どもたちの麦踏み体験を支援し、持続可能な地域農業の実現をめざします。その他、**田原台六丁目の未利用地**は、調査や協議を行いながら、環境に配慮した憩いの場としての整備を進めます。



令和8年度予算

主要施策

令和8年度予算における主要な施策の一部を、総合戦略に掲げる3つの基本目標ごとに紹介します。

基本目標1 ひとつづくり

- 公立小中学校の給食費を完全無償化
- 民間企業と連携した教育フェスの開催
- 地域人材を活用した部活動の地域展開を推進
- 全小学校区にスクールソーシャルワーカーを配置
- 樹木医による学校敷地内の樹木点検
- 企業とつくる特別教室の開催

基本目標2 まちづくり

- 西部地域北西部での公園整備の検討
- くすの木公園再開に向けた対策・運用強化
- 災害用トイレの整備
- 消防団装備品(アイスベスト)の拡充

基本目標3 しくみづくり

- 「こども誰でも通園制度」の開始(乳児等通園支援事業)
- がん治療に伴うウィッグ・乳房補整具購入費の一部助成
- RSウイルス母子免疫ワクチンの接種体制整備と周知・啓発

令和8年度

当初予算



当初予算総額 425億5175万7千円

令和8年度の当初予算額は、一般会計、4特別会計、下水道事業会計を合わせた総額が425億5175万7千円で、前年度当初予算総額と比べ2.1%、8億9435万7千円の

増となりました。会計ごとの当初予算額は総括表をご覧ください。

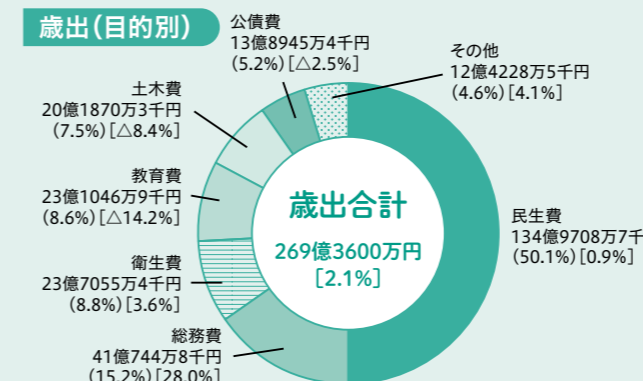
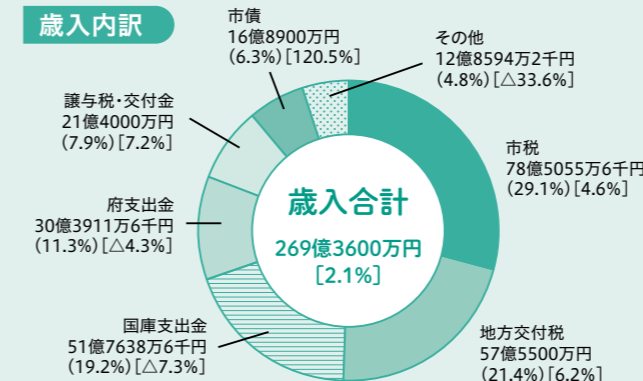
一般会計当初予算額 前年度との比較

- 人件費 前年度比 2億7053万5千円(6.6%)増加↑ (地域手当の増などによる)
- 普通建設事業費 前年度比 2億2704万3千円(9.6%)増加↑ (市庁舎新棟建設工事にかかる費用の増などによる)
- 扶助費 前年度比 2億5029万6千円(3.0%)増加↑ (自立支援介護給付費の増などによる)
- 物件費 前年度比 4億2578万9千円(10.1%)減少↓ (学校学習系端末更新費用の減などによる)

5億5357万4千円(2.1%)増加 合計269億3600万円

一般会計当初予算 内訳

※()は構成比率、[]は対前年度増減率



主な用語の説明

- 民生費 高齢者・子ども・障がい者の福祉、生活保護などにかかるお金
- 総務費 戸籍や住民登録、市役所の内部経費などにかかるお金
- 衛生費 ごみ収集、健康増進、予防接種などにかかるお金
- 教育費 市立小中学校、図書館、体育館の管理運営などにかかるお金
- 土木費 道路・公園の建設や維持管理などにかかるお金
- 公債費 市の借金(市債)の元金返済と利子の支払いにかかるお金

▽令和8年度当初予算総括表

会計ごとの当初予算額はこの表を確認してください。

区 分	令和8年度	令和7年度	増減額	増減率(%)
	A	B	C:A-B	C/B×100
一般会計	269億3600万円	263億8242万6千円	5億5357万4千円	2.1
国民健康保険特別会計	51億8392万5千円	53億7272万5千円	△1億8880万円	△3.5
介護保険特別会計	57億8733万2千円	54億4688万1千円	3億4045万1千円	6.3
後期高齢者医療特別会計	12億7094万2千円	11億3009万8千円	1億4084万4千円	12.5
土地取得特別会計	4485万6千円	4495万6千円	△10万円	△0.2
小計	392億2305万5千円	383億7708万6千円	8億4596万9千円	2.2
下水道事業会計	33億2870万2千円	32億8031万4千円	4838万8千円	1.5
合計	425億5175万7千円	416億5740万円	8億9435万7千円	2.1